

平成25年度 生活科・総合的な学習の時間 年間カリキュラム

岡崎市立連尺小学校

学 年	1 学 期				2 学 期				3 学 期		
	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年 (102時間) 飼育・栽培 (48時間) 製作 (32時間) 探検 (22時間)	【いきもと なかよし】30時間 ⑦ ⑧ ○生き物の成長の様子を観察し、記録していく。										
	【がっこうたんけんをしよう】 10時間 ①④⑦ ○名刺作り・交換	【おしえてあげる あさがおのこと】 18時間 ①②③⑤⑥⑦⑧ ○あさがおの栽培 ○草花遊び ○種子の採取	【お手つだい大きくなせん】6時間 ③ ○家族の仕事・自分の仕事	【あきとあそぼう】(環境学習プログラムを含む) 24時間 ④⑤⑥⑦ ○木の実や木の葉のおもちゃ作り ○公園に行ってあそぼう	【やってみよう むかしのあそび】 10時間 ⑤⑥ ○お正月の遊びの紹介 ○お正月の遊びのおもち	【もうすぐ2年生】 4時間①⑤⑥⑦ ○2年生にむけて					
2 年 (70時間) 飼育 (12時間) 栽培 (15時間) 製作 (18時間) 探検 (25時間)	【2年生になったよ】 6時間 ①⑥ ○1年生となかよしひなろう	【いきものはっけん】 12時間 ②③⑤⑥⑦⑧⑨ ○きてるってすこぞ	【大きくなあれ】(環境学習プログラム含)8時間 ③⑤⑦⑧ ○野菜づくり	【学校の外を散歩しよう】 10時間 ③④⑤⑥ ○春みつけ、あそび ○自然がいっぱい	【町大すき】15時間③④⑤ ○町(学区)の宝を見つけよう	【大きくなあれ】 7時間③⑤⑦⑧ ○収穫祭	【みんな大すき】12時間 ②⑧ ○大きくなったよ ○アルバムづくり				
3 年 (35時間) 環境学習 (20時間) 町学習 (15時間)	【虫と友だちⅠ】5時間 (環境学習) ○学校や学区の自然の中から卵や幼虫を探し、アゲハチョウやモンシロチョウなどのチョウとトンボを飼育・観察する。 ○観察記録を張り合わせ昆虫日記を作り、チョウやトンボの成長の様子をまとめ、比較する。	【学校の自然】(環境学習プログラム) 5時間 ○地面の温度調査をし、動植物がどんな場所が好きか探る。	【虫と友だちⅡ】5時間 (環境学習) ○学校や学区で昆虫を探し、飼育・観察を通して秋の虫の声の仕組みを調べる。	【虫と友だちⅢ】5時間 (環境学習) ○学校や学区で、冬越しの虫を見つけてまとめる。	【昔の連尺小にタイムスリップ!】15時間 ○各自のテーマに沿って、聞き取り調査をしたり資料を基に調べたりしながら、連尺小の歴史を探る。 ○連尺小の歴史をまとめ、「あいあい学習発表会」で、全校児童に知らせる。						
4 年 (35時間) 環境学習 (25時間) 町学習 (10時間)	【野鳥の集まる秘密を探ろうⅠ】10時間 (環境学習) (ツツメの秘密を探ろう) ○学区に住むツツメの生態や巣の様子や場所などを調べる。 ○他の地域のツツメの様子と比較し、学区ツツメの巣が多い理由を考え、学級学年で話し合う。	【作戦 R】(環境学習プログラム)5時間 ○学区のごみ調べをし、廃棄物が与える影響についてしり、3R活動をする。	【おいでん二七市へ】10時間 (町学習) ○二七市の連尺の町で50年以上も続いている秘密を予想し話し合う。 ○予想に基づいて、聞き取り調査など追跡活動をする。 ○調べたことをもとに、ガイドブックをつくり、他学年や保護者に紹介する。	【野鳥の集まる秘密を探ろうⅡ】10時間 (環境学習) (野鳥の秘密を探ろう) ○他地域や学区に訪れる野鳥の生態を調べたり、観察したりする。 ○調べたことや観察したことを発表し合い、連尺学区で野鳥が集まる秘密を予想し、話し合う。 ○予想したことを確かめるために、自分の課題に沿って調査をする。 ○調べたことをもとに、野鳥が集まる学区の環境について話し合う。 ○野鳥がずっと集まる環境を守るために、自分たちにできることを考え実行しよう。							
5 年 (70時間) 環境・町学習 (70時間)	【広げよう伊賀川の気持ち】 70時間・内環境学習プログラム15時間 ○伊賀川の生き物調査をし、伊賀川的环境について考察する。 ○伊賀川の水質や周囲の環境、上流と下流の違い、過去と現在の様子など、伊賀川をトータル的に調査する。 ○それまでの伊賀川調べの結果を基に、伊賀川の現状について話し合う。 ○伊賀川を美しくする会の方の話を聞き、伊賀川の未来について考える。 ○伊賀川の美化活動や呼びかけ活動の計画を立て、「伊賀川クリーン作戦」を行う。										
6 年 (70時間) 町学習 (55時間) 環境学習 (15時間)	【ふるさと連尺～未来へのメッセージ～】55時間 (町学習) ○社会科で学習した江戸城下くらしをもとに、岡崎の城下町について話し合う。 ○二十七曲り探索を通して、歴史的実史を知るとともに、学区を大切に思う人々の苦勞や願いにふれ郷土への愛着を深める。 ○未来の連尺のこれからを見通して自分たちにできることの計画を立て、調査や話し合いを繰り返しながら、学習の課題を見つけ解決する。 ○連尺学区の良さや自分の思いをまとめる。								【守ろう地球】(環境学習プログラム)15時間 ○地球規模の環境変化の現状を知り、自分たちにできることを考え、実行する。		